

「東京いー散歩」

担当教員名 後藤 彌彦

1 コースの概要

| | |
|------|------------------|
| 日 程 | 2013年9月 |
| 場 所 | 東京の官庁街、下町、山の手を歩く |
| 参加人数 | 13人 |

2 コースの目的

現在の東京は、徳川家康の江戸の街作り、明暦の大火後の川向こうへの拡大、明治の地区改正、大正の関東大震災、戦後の焼け野原からの復興を経て形作られました。これらを念頭において、このコースでは東京の街歩きを通じて、江戸と東京の歴史的遺産及び文化的遺産、環境に関する資料館、都市の緑、都市公園施設等を訪ねます。そして、東京の成り立ちと都市造りに際して環境と防災の視点が重要であることを学習するとともに、今後の都市環境、都市景観、都市の緑を考えることが目的です。

3 事前学習

プリント資料とビデオにより、東京の現在の都市形成の歩みを学びました。ビデオは「上野寛永寺」、「明暦大火と回向院」、「震災復興」、「ヒートアイランド」に関するものです。事前の予習に必要な参考書が紹介されます。

4 行程 (内容)

1日目

地下鉄虎ノ門駅に集合し、昭和初期の官庁計画による旧文部省ビルで旧大臣室などを見学し、桜田門を遠望したのち、明治の官庁集中計画による旧法務省庁舎（重文）の中の法務資料展示室を見学しました。農林水産省食堂で昼食の後、日比谷公園で日比谷図書館（千代田にみる都市の形成と展開に関する展示を学ぶ。）、日比谷公会堂などを見ながら日本初の西洋式公園を散策しました。



地震の科学館にて地震体験



旧文部省ビルにて旧文部大臣室を見学



旧岩崎庭園にて

2日目

清澄白河駅に集合し、深川江戸資料館で江戸の暮らしを学んだ後、清澄庭園を訪ね、大名屋敷から富豪の邸宅を経て、現在は都市の緑の拠点となる歴史を学びました。パン工場での昼食の後、隅田川に沿って散策、気象緩和など都市における川の働きを考えながら、清洲橋などの景観を楽しみました。終わりに明暦の大火に関する回向院を訪ねました。

3日目

JR 上野駅に集合し、上野公園から不忍池へ経て、旧岩崎庭園でコンドル設計の明治時代の洋館建築を見学しました。東大構内を散策し、昭和初期の校舎建築をみるとともに昼食をとりました。菊坂で一葉の足跡を訪ね、水道歴史館で江戸から現在にいたる水道を学び、終わりに震災小公園元町公園を訪ねました。

4日目

JR 王子駅に集合し、音無親水公園を経て飛鳥山公園を歩き、渋沢栄一の屋敷跡を訪ねました。地震の科学館で震度7などを体験し、旧古河庭園で和洋の調和した庭園を散策しました。昼食の後、西ヶ原ふれあい公園（東京外国語大学跡地）で防災と環境を考慮した最新の都市公園を散策しました。本妙寺や慈眼寺を経て、終わりに旧中山道のあるき、とげ抜き地藏を訪ねました。

5 事後学習

震災に対する後藤新平の働きに関するビデオでおさらいをしながら、FS に印象について意見交換しました。

学生の声

街歩きだからこそ見つけられた東京



2年 清水 力也

インターネットの普及などで知りたい情報をなんの造作もなく知ることのできる時代に私たちは生きている。しかし、自分の脚で実際にその場所を訪ね、自分の眼で実際に実物を目の当たりにすることがパソコンやスマートフォンなどから得た情報よりも数段価値のあることだとこのフィールドスタディ (FS) を通じて実感した。間接的な情報からは湧き起こらない疑問や関心がどんどん出てくるのに自分でも驚いた。

このFSでは、とにかく歩く。旧文部省庁舎や旧岩崎邸庭園、東京大学構内など4日間で十数か所を訪ねた。道中で上野大仏や芥川龍之介の墓など興味深いものにたくさん出会うことが出来た。このFSの魅力は、ひとつのテーマに制限されない都市環境や歴史的文化財、都市景観など様々なテーマを参加者に提示し、考察する機会を与えてくれることだ。私は、西ヶ原みんなの公園という防災公園を訪ねた経験から地域の防災に関心を持ち、それを最終レポートにまとめた。